

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称	令和5年度 豊島区新型インフルエンザ等対策推進協議会	
事務局（担当課）	保健予防課	
開 催 日 時	令和6年3月22日（金）午後7時30分～午後8時30分	
開 催 場 所	豊島区医師会館 講堂	
議 題	1. 保健所長あいさつ 2. 議事 （1）豊島区感染症予防計画（案）について （2）新型インフルエンザ対策備蓄品状況 （3）新型インフルエンザの動向について （4）最近の麻しん発生の状況について （5）エムボックス発生の動向について （6）新型コロナウイルスワクチンの特例臨時接種終了について 3. 閉会のあいさつ	
公開の 可否	会 議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 傍聴人数 0人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由

出席者	委員	<ul style="list-style-type: none"> ・田口 享子 ・佐藤 香理奈 ・湊 通嘉 ・高田 靖 ・伊原 孝子 ・平井 菜穂子 ・植原 昭治
	理事	<ul style="list-style-type: none"> ・池袋警察署警備課長 ・巣鴨警察署警備課長 ・目白警察署警備課長 ・豊島消防署警防課長（代理） ・健康担当部長 ・生活衛生課長 ・健康推進課長 ・長崎健康相談所長 ・保健予防課長

審 議 経 過

1. 保健所長あいさつ

2. 議事

(1) 豊島区感染症予防計画（案）について

資料1-1 豊島区感染症予防計画（案）のパブリックコメント実施結果について

資料1-2 豊島区感染症予防計画（案）

区 （事務局より資料について説明）

区 新型コロナウイルス感染症の療養期間中の口腔トラブルについて、歯科医師会に訪問診療を行っていただいたが、今後もどのような感染症が発生するか分からないので相談体制を検討すると記載したが問題はないか。

委員 訪問診療の体制はできている。新型コロナウイルス感染症の時は豊島区だけでなく、他の地域からも要請があり対応した。今後も経験を活かして協力していきたい。

(2) 新型インフルエンザ対策備蓄品状況

資料2 池袋保健所新型インフルエンザ対策医療資器材備蓄状況

区 （事務局より資料について説明）

区 新型インフルエンザ対策備蓄薬について、追加したほうがよいもの等あるか。

委員 現段階の備蓄で問題ないと思う。高病原性のインフルエンザは、どの薬が有効か分からないので早く情報を共有していただき、対応の準備を進めるしかない。新しくゾフルーザという薬が開発されたが保管期間が短いのが弱点である。

区 感染症の情報については、迅速に提供したい。

委員 備蓄薬について、保健所職員用とのことだがタミフルドライシロップ（子供用）は必要なのか。

区 施設内で感染が発生した時のことを考え、少量ではあるが備蓄している。

委員 現在、タミフルドライシロップは手に入りにくい状態なので脱カプセルしてお渡ししたケースもある。タミフルドライシロップは冷所で保管しなければいけないので注意が必要である。

(3) 最近のインフルエンザ発生の動向について

資料3 最近のインフルエンザ発生の動向について

区 (事務局より資料について説明)

委員 昨年のインフルエンザの流行は、我々が経験したことのない通年流行しているような状態だった。ワクチンを冬に向けて1回接種するのはもう時代ではないのではないか。夏用に1回、冬用に1回ということでない、ワクチン免疫が切れた段階での流行ほど怖いものはない。小児の場合は、ワクチンを接種しても予防できるのは30%前後であるので、安全性及び有効性が高いワクチンが開発されると、より予防できる。予防するにはワクチン接種が1番だと周知できればよい。

区 ワクチンの供給が難しいのだと思う。生産体制等含めて抜本的に変えなければ年2回接種は難しいだろう。

(4) 最近の麻しん発生の状況について

資料4-1 最近の麻しんの発生の動向について

資料4-2 麻しん(はしか)患者の発生について①

資料4-3 麻しん(はしか)患者の発生について②

資料4-4 麻しん(はしか)患者の発生について③

資料4-5 麻しん(はしか)とは

区 (事務局より資料について説明)

委員 麻しん感染者が発生すると、公共交通機関や飲食店等の利用等について報道発表されるが、それだけ危険な感染症ということである。前回の新型インフルエンザ等対策推進協議会でもお話したが、ワクチンの接種率を上げるために接種勧奨をすることが必要だ。現在は、麻しん患者発生の報道が過熱することにより、ワクチンが不足している。このような状況ではどうしようもないので、こうならないために前例を忘れないことが重要である。今回の予防計画にも記載があるが、いかに平常時にワクチン接種の予防啓発をするか重要である。

区 海外との行き来が増えたこともあり、海外で感染した人が国内で発症することがある。2次感染3次感染を防ぐためにもワクチン接種を進めることが重要である。

委員 もう1点だけ付け加えさせてほしい。麻しんの診断は、簡単そうに見えて実は難しい。ワクチンを接種していて、完全に免疫がある人はいいが、ワクチン接種が1回だ

けの中途半端な免疫の人が感染すると、非典型的な症状が出る修飾麻しんとなり診断が難しくなる。そうするとPCR検査をするしかなくなる。ワクチンを接種することは免疫を保つためにとっても有効な手段だが、診断をより難しくすることもあるのでご理解いただきたい。

区 麻しんの疑いがあるときは、疑い症例として保健所に報告いただければ、検体の提供が必要になるが検査することはできる。

麻しんのワクチンが不足していることについて、現場はどのような状況か。

委員 当院でも不足しており、供給がない状態。多くの問い合わせをいただいているが、対応できない旨回答している。対策として抗体価の検査は行っている。

委員 小児は状況が少し違っている。小児は感染時の死亡率が高いため、厚労省から優先的な供給依頼がされている。また、麻しん患者の発生について、報道が過熱するほど、1歳から始まる定期接種未満の0歳児（乳児）を持つ保護者から、ワクチンを接種したいと問い合わせがある。乳児におけるワクチンの有効性及び安全性が確認できていないこと、定期接種と任意接種の接種後のケアが大きく異なることから接種は勧めていない。緊急接種が必要な事態になったら連絡をするようにお伝えしている。予防接種2期の接種率が88%くらいなので、そこを優先的に行っているが、希望するワクチンの本数の1/5程度しか供給がない状態である。流行してワクチンが不足するような事態の前に、ワクチン接種をして備えることが重要だ。

(5) エムポックス発生の動向について

資料5-1 エムポックスとは

資料5-2 東京都におけるエムポックス患者の発生について

区 (事務局より資料について説明)

(6) 新型コロナウイルスワクチンの特例臨時接種終了について

資料6 今後の新型コロナウイルスワクチン接種について

区 (事務局より資料について説明)

3. 閉会のあいさつ

※ 審議経過の記載が2頁以上にわたる場合は、右肩にNo.を付す。

提出された資料等	資料1-1 豊島区感染症予防計画（案）のパブリックコメント実施結果について 資料1-2 豊島区感染症予防計画（案） 資料2 池袋保健所新型インフルエンザ対策医療資器材備蓄状況 資料3 最近のインフルエンザ発生の動向について 資料4-1 最近の麻しんの発生の動向について 資料4-2 麻しん（はしか）患者の発生について① 資料4-3 麻しん（はしか）患者の発生について② 資料4-4 麻しん（はしか）患者の発生について③ 資料4-5 麻しん（はしか）とは 資料5-1 エムボックスとは 資料5-2 東京都におけるエムボックス患者の発生について 資料6 今後の新型コロナウイルスワクチン接種について
----------	--